

科目名	担当教員	学期	単位
政治学英語文献研究 I	小林 真理	後期	2

講義概要

近年、公共政策の分野に文化政策の領域が認められるようになってきました。しかしながら、その範囲、原則、実行の方法については、いまだ共通の認識が形成されているとはいいがたく、現実には文化政策と名の付く政策が先行している状況といえます。そもそも文化政策とはどのような政策領域で、何を対象とするのか。この授業では、ヨーロッパ評議会が作成してきた研究、A reflection on the function of culture in building citizenship capacity、を読むことにします。なお、この研究のどの部分を読むのか等については、最初の授業で確定をして、分担を決めますが、おおむね以下のスケジュールで読み進めていくことにします。

シラバス

- 第1回：オリエンテーション：（各自の分担の決定）
- 第2回：文化とは（1）
- 第3回：文化とは（2）：政策の対象としての文化
- 第4回：芸術及び遺産の社会的影響（1）
- 第5回：芸術及び遺産の社会的影響（2）
- 第6回：多様性の価値（1）
- 第7回：多様性の価値（2）
- 第8回：文化的多様性はどのように創造されるか（1）
- 第9回：文化的多様性はどのように創造されるか（2）
- 第10回：文化的シティズンシップとは（1）
- 第11回：文化的シティズンシップとは（2）
- 第12回：戦略的な財としての文化
- 第13回：文化における政府の役割
- 第14回：文化政策の実践
- 第15回：まとめ・評価・他

教科書

Dick Stanley, A reflection on the function of culture in building citizenship capacity, Policy Note No.10, Council of Europe Publishing, 2005.

参考文献

適宜指示する。

評価方法

出席、課題への取り組み、議論への積極的な参加等を総合的に判断する。

関連URL

備考